

湯田小学校で キヤップハンディ体験

さる七月二日に、湯田小学校講堂で、湯田小学校四年生が、キヤップハンディ体験を行いました。

今回は、車いす体験とインスタントシニア（高齢者疑似）体験を行いました。

車いす体験では、自分で操作することと介助してもらおうことを体験してもらいました。ほとんどの児童が車いすを触ったことがあります。自分で操作した際は、段差があると進めなかったとか、コントロールが難しかったとのことでした。また、介助して乗った場合は、乗っている人に声をかけているのが聞こえなくて、怖い思いをさせてしまったとの感想があり、実際に車いす利用者を介助する際は、大きな声ではつきり

と伝えるようにしたいとの感想があげられました。



【車いすで段差を進みます】

また、インスタントシニア体験では、専用のサポーターなどを装着し、館内を歩いてみたり、折り紙を折ってみたり、上着を一人で着たり脱いだりしてみました。なかなか、思い通りにいかない様子でした。この体験を通して、体の自由が利かない方に理解を示し、今後の生活に活かしていきたいと話しておりました。



【動きづらいなあ？】

ビーハンター 活動開始！

日常の些細な要望にこたえるアクション大舞広の一環で、民家の蜂の巣駆除を行うボランティア『ビーハンター』が活動を開始いたします。

この事業は、平成二十四年度岩手県ボランティア育成会長澤基金の助成金を受け、蜂防護服を購入し、活動を進めるものです。



【購入した蜂防護服4着です】

独居の高齢者の増加などに加えて、その方々が居住する

古民家に毎年のように巣をつくる蜂。町内に蜂駆除の専門業者がないため、町外の業者に依頼すると、交通費を含め多額の料金を請求され、年金収入のみの世帯においては、生活を脅かすほどの負担を強いられる場合もあります。

そこで、低額の費用で蜂の巣の駆除を行うボランティアを開始いたします。対象世帯については、福祉協議会で作成している要援護者名簿に記載されている世帯に限ります。希望の方は、福祉協議会にご連絡いただきますと、現場を確認に伺います。



【まずは、ご相談ください】